

2021年度事業報告書

特定非営利活動法人 兵庫農漁村社会研究所

1 事業実施の基本方針

今年度はコロナウィルスの蔓延防止対策が各地で講じられ、会場封鎖もあってかなり活動が制限されたが、法人設立10年目を迎え、これまで以上に会員と力を合わせ、設立目的の実現に向けて地域活性化の活動、有機農業の推進、食育活動の推進等、食と農に関する多様な事業に取り組んできた。さらに、県内農村における安全良質な食料の生産拡大、農村都市交流の県域的拡大、地産地消の県民の暮らしの定着等を図りつつ、農村地域の賑わいの回復、農村都市連携型の地域社会の拡大、健康な県民の暮らしの実現にも寄与すべく、各種事業に可能な限り取り組んできた。

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 地域づくりの啓発連携事業

① 「地域農政フォーラム」の開催

第37回地域農政フォーラム:主題:「急速に進む村の崩壊～出来るか農村の賑わいの創出」

○実施日 11月19日(金)午後1時～4時30分

○実施場所 神戸市勤労会館405号室

○講師 報告1:「都市側から地域おこしに関わる活動」

寺川敏博氏(多可町地域商社RAKU代表)

報告2:「持続できる地域を目指して～生田村の挑戦」

田村伊久男氏(生田地域活性化協議会事務局長、一般社団法人
生田村常任理事)

講和:「農村の現状と新しい農村政策の展望」

宮島康彦氏(兵庫県総合農政課長)

総括と討論

コーディネーター:三浦恒夫氏(本研究所理事、研究主幹・農業政策担当)

② 「ビレッジライフ懇話会」の開催

毎月1回、「ビレッジライフ懇話会」(原則として第3土曜日の午後)を開催した

○実施日 毎月一回(5月中止)、計11回(第248回～第258回)

4月24日「竹による里山の荒廃と竹の活用」雑喉 良氏ほか、神戸市

5月22日 久洋平氏を予定、コロナにより中止

6月26日「豊かな里海づくりと伝統的な魚食文化をめざして」北地清治氏他、神戸市

7月24日「福祉施設における有機農業の取り組み」西村栄二・竹岡真弓氏、神戸市

8月28日「朝来市に移住、岩津ネギ栽培に挑戦」久 洋平氏、朝来市

9月25日「田舎暮らしを始めて」大垣陽子氏、宍粟市

10月23日「神戸の海と魚」糸谷謙一氏、神戸市

11月27日「丹後半島で棚田保全に取り組む」豊田圭哉氏、三木市

12月18日「夫婦で有機いちご経営に挑戦」坂元麻衣子氏、神戸市

- 1月22日「子どもの未来と食」和田沙央梨氏、吹田市
 - 2月25日「兵庫県農業の可能性と課題」稲葉久美子氏、神戸市
 - 3月25日「しあわせの村農福連携有機農場の取り組み」中村耕司氏、神戸市
- 実施場所 県民会館901号室・1001号室、神戸市教育会館等

③地域づくりの企画運営の支援

- 実施日 今年度は実施せず
- 実施場所

④大屋分室の活動

- ・「おおや有機農業の学校」オープンスクール、市民講座の支援
- 実施日： オープンスクールはコロナのため中止
- 実施場所：
- 実施日：2月6日（日）有機農業講座
- 実施場所：養父市関宮・大谷地区

(2) 有機農業の推進連携事業

①「おおや有機農業の学校」の支援・連携

- 毎月、養父市大屋町で開催される「おおや有機農業の学校」の講義・実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
- 実施日 4月から翌年3月まで毎月一回、計12回、受講者30名
- 実施場所 養父市大屋地域局

②「兵庫楽農生活センター・有機農業塾」の支援・連携

- 毎月、兵庫楽農生活センターで開催される「有機農業塾」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
- 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者70名
- 実施場所 兵庫楽農生活センター

③「たじま農協・有機農業教室」の支援・連携

- 毎月、たじま農協豊岡営農生活センターで開催される「JA たじま有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
- 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者30名
- 実施場所 JA たじま豊岡営農生活センター

④「神河有機農業教室」の支援・連携

- 毎月、神崎郡神河町で開催される「神河有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
- 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者40名
- 実施場所 神河町文化ホール、神河町杉地区公民館

⑤「兵庫県立農業大学校・有機農業研修コース」の支援・連携

- 毎月、加西市にある県立農業大学校で開催される「有機農業研修コース」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
- 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者30名

- 実施場所 県立農業大学校
- ⑥「小代有機農業教室」の支援・連携
 - 毎月、香美町小代区で開催される「小代有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 4月から12月まで毎月一回、計9回、受講者30名
 - 実施場所 香美町小代地域局
- ⑦「神付有機農業教室」の支援・連携
 - 毎月、神戸市北区大沢（おおぞう）町神付で開催される「神付有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者50名
 - 実施場所 神戸市北区上大沢ふれあい会館（講義）、神付ふるさと村（実習）
- ⑧「たつの有機農業教室」の支援・連携
 - たつの市揖保川町で開催される「たつの有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者60名
 - 実施場所 たつの文化会館
- ⑨「丹波有機農業教室」の支援・連携
 - 丹波市柏原町で開催される「丹波有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者40名
 - 実施場所 丹波の森公苑、丹波市立柏原住民センター会議室A・B
- ⑩「コープこうべ有機農業教室」の支援・連携
 - 三木市瑞穂地区にあるコープこうべのエコファームで開催される「コープこうべ有機農業教室」の講義・実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 4月から翌年1月まで毎月一回、計10回、受講者40名
 - 実施場所 コープこうべ・エコファーム学習室
- ⑪「有機農業の寺子屋」の支援・連携
 - 神戸市中央区北野町で開催される「有機農業の寺子屋」（全12回）の講義、運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日（夜間）4月から翌年3月まで毎月一回、計12回、受講者20名
 - 実施場所 ファームスタンド（神戸市中央区北野町）
- ⑫「神戸市しあわせの村」有機圃場の支援・連携
 - 障害者の仕事作りのための有機野菜栽培の支援のため、神戸市シルバーカレッジ卒業生有志のサポーターとともに、毎月1回、有機圃場において野菜栽培を指導、支援
 - 実施日 4月から翌年3月まで、毎月1回、計12回、サポーター参加者平均毎月15名、障害者は月平均10名程度が参加
 - 実施場所 神戸市しあわせの村・有機圃場（略称・しあわせ農場）
- ⑬地域有機農業講座の支援・連携
 - 県下各地ならびに県外で随時開催される有機農業に関わる講座を支援し、連携して活動
 - 実施日と実施場所
 - 4月27日：淡路有機農業講座

- 5月28日：加古川有機農業講座
- 6月22日：稲美有機農業講座
- 6月29日：宍粟有機農業講座
- 8月31日：宍粟有機農業講座
- 10月22日：淡路有機農業講座
- 3月18日：西脇有機農業講座

⑭有機農業指導者の養成

有機農業のさらなる普及を図るため、指導者の養成に取り組んだ

- 実施日 兵庫県下各地の有機農業の学校・教室、有機農業講座の開催日
- 実施場所 県内各地の有機農業の学校・教室、講座開催場所

⑮有機農業（HYS低温発酵有機資材活用）指導員の認定

有機農業の確実な普及を図るため、2018度から有機農業指導員を認定することにし、研究所内に認定委員会を設置するとともに、今年度は第4回認定式を開催

第4回有機農業指導員認定式の開催

- 開催日 2月8日（火）午後2時～4時30分
- 開催場所 神戸市教育会館501号室

認定委員会

- 委員長：三浦恒夫氏（理事、研究主幹・農業政策担当）
- 委員：西村いつき氏（理事、研究主幹・農業技術担当）
- 委員：小寺 収氏（社員、研究主幹・協同活動担当）

認定指導員

認定番号038番から070番まで、計33名を認定した。氏名はホームページにて公開

⑯農地利用・管理の経営委託

丹波有機農業教室を主催するに当たり、農地法第3条に基づく農地の使用貸借権を設定。2019年3月25日に丹波市農業委員会より認可（契約5年間）。農地の使用・管理については「丹波天地有機の農業を楽しむ会」（代表・植木淳子氏）に引き続き経営委託（丹波有機農業教室の実習畑として利用）

(3) 食育推進事業

① 食のVenus「おやこ食育アカデミー」の開催

季節に応じたプログラムを工夫し、安全良質な食べ物、とりわけ、ごはんと発酵食品を通して土の栄養と人間の健康、発酵食品と人間の健康の関係を学び、日本の食文化、風土に育まれた農の営みを両輪とした食育活動を推進

- 実施日 コロナのため実施せず
- 実施場所

② 「第9回兵庫県学校食育研究会」の開催

小中学校における食育のあり方について、市民とともに考え研究するため第9回兵庫県学校食育研究会を開催し、研究報告、討論ならびに交流の場を提供し、兵庫県内の小中学校教育における食育の推進・向上に協力

- 実施日 3月28日（火）午前10時～午後4時30分
- 実施場所 県民会館 福の間

- 報告者 吉良亜沙子氏（丹波篠山市立味間小学校教諭）
中尾幸雄氏（元明石市立松が丘小学校校長）
世良 光氏（宍粟市立伊水小学校栄養教諭）
保田 茂氏（神戸大学名誉教授、兵庫農漁村社会研究所理事長）
- 司会者 保田 茂氏（上記）
田路永子氏（元宍粟市立小学校栄養教諭）
吉良亜沙子氏（上記）

③ かまど炊飯体験学習の支援・連携

兵庫県総合農政課ならびに(財)学校給食食育支援センターが実施するかまど炊飯体験事業の企画・運営を支援し、連携して活動

○実施日と実施場所

幼稚園・保育園：7園実施、8園中止

10月8日：浜坂認定子ども園（新温泉町）、10月12日：三草子ども園（加東市）、10月26日：緑台幼稚園（川西市）、11月1日：宝国幼稚園（姫路市）、11月2日：蓮池幼稚園（播磨町）、11月29日：日岡保育園（加古川市）、12月16日：子ども園ミライズそら（丹波市）

小学校：2校実施、3校中止

6月30日河合小学校（小野市）、11月30日大津茂小学校（姫路市）

④ 食育指導者の研修・交流活動

食の Venus の活動に参加する管理栄養士を目指す学生ならびに若手栄養士に対する研修・交流の場を提供

○実施日 今年度は実施せず

○実施場所

⑤ 県下自治体による食育関連事業に対する支援

○実施日 今年度は実施せず

○実施場所

⑥ ひょうご食農塾の開催

高齢者を対象に、食と農に関する学習会を毎月1回開催し、食の大切さを自覚するとともに、高齢者の健康な暮らしが可能となるよう支援。8月は夏休み

○実施日 毎月1回・第2水曜日（原則、8月は休み）、計11回、平均40名の参加

○実施場所 神戸クリスタルビル・セミナー室、県民会館等

(4) 国際交流に関する事業

有機農業の技術、流通に関する国際交流の実施

○実施日 今年度はコロナのため実施できず

○実施場所

(5) 食と農に関する調査・研究事業

兵庫県ならびに各自治体等の要請により、食と農に関する調査・研究を行う

○実施日 今年度は実施せず

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ・通常総会 5月25日(火)を予定。コロナのため書面により決議
- ・理事会 5月25日(火) 上記の通り
- ・分室会議 8月6日(土)、2月4日(土)、いずれも実施せず

(2) 事務局体制

- ・総括・企画担当 保田 茂 (理事長)
- ・広報 (ホームページ)・企画担当 山下陽子 (副理事長)
- ・庶務・会計担当 飛田みえ子 (社員)
- ・大屋分室担当 (分室長) 井原弘志 (社員)
- 別に監査担当を置く 大西信行 (監事)

(3) 研究組織

- 理事長 (総括) 保田 茂
- 副理事長 (食育担当) 山下陽子
- 研究主幹 (農業政策担当) 三浦恒夫 (理事)
- 同 上 (農業技術担当) 西村いつき (理事)
- 同 上 (協同活動担当) 小寺 収 (社員)
- 同 上 (地域農村担当) 和田祐之 (理事)
- 同 上 (国際交流担当) 飛田雄一 (理事)
- 同 上 (農業・農村史担当) 池本廣希 (社員)

(4) 有機農業指導員認定委員会

- 委員長 (研究主幹) 三浦恒夫 (理事)
- 委 員 (研究主幹) 西村いつき (理事)
- 委 員 (研究主幹) 小寺 収 (社員)